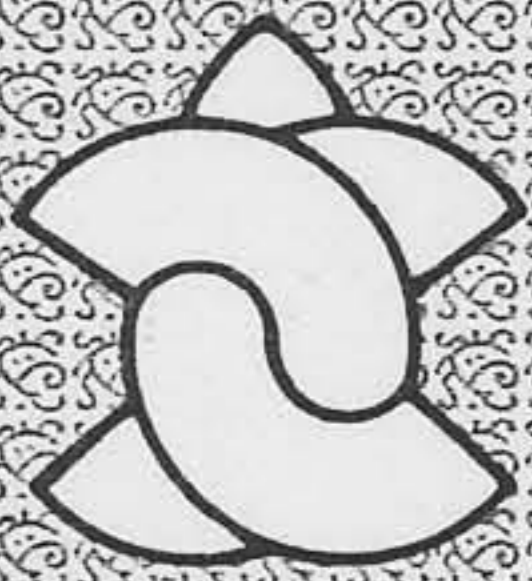


— 第2号 —

編集：立命館大学化学科同窓会事務局  
編集責任者：岩橋 清  
〒603 京都市北区等持院北町56-1  
立命館大学化学科内  
TEL 075-463-1131  
(内3635)

立命館大学



# 化学科同窓会ニュース

## スタンフォード留学記

林 隆俊  
(立命館大学教授)

一九八三年四月より一年間、  
本学の資金によりカリフォル  
ニアのスタンフォード大学へ  
国外留学させていただきまし  
た。

アメリカはとほうもなく大  
きい国です。一年間で私の  
見聞し得たものは、おそらく  
アメリカの一点に過ぎないと  
思います。従って、私がここ  
で述べたことは、私の見たア  
メリカであり、独断と偏見に  
満ちていることをお許し願ひ  
ます。

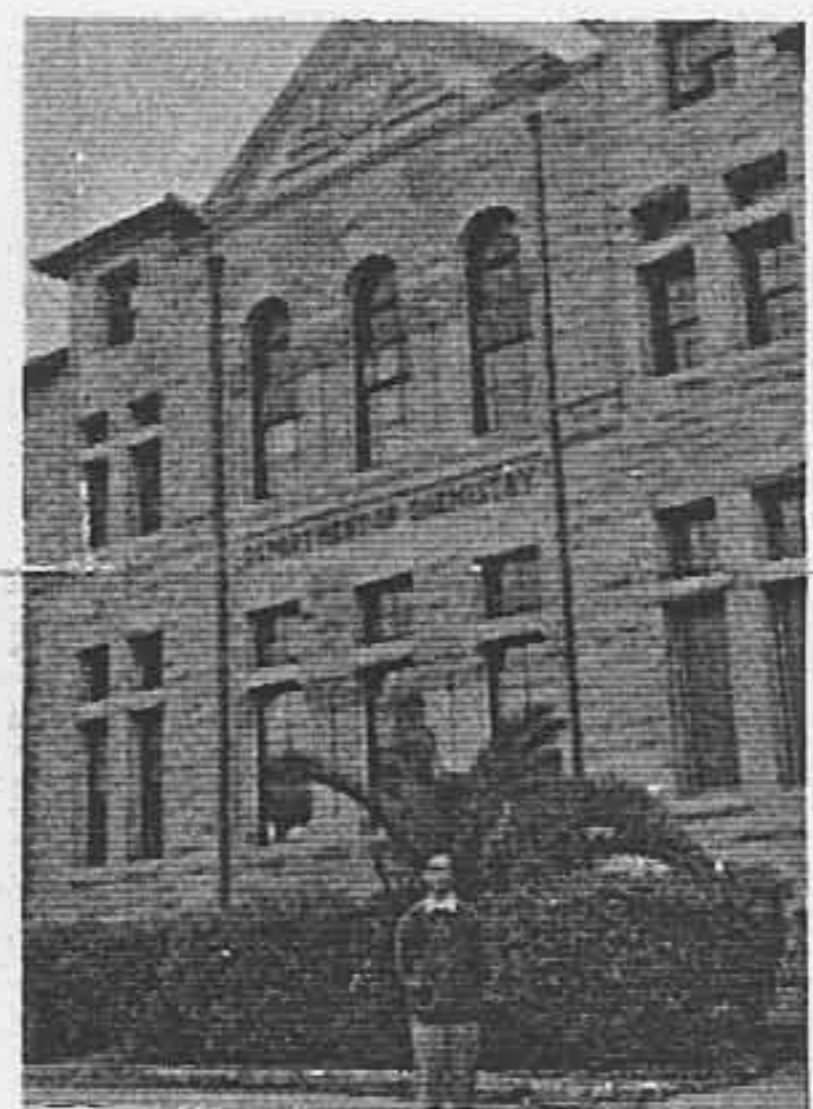
まず、スタンフォード大学  
はサンフランシスコの東南約  
四五キロに位置しており、カ  
リフォルニア大学のバークレ  
ー校にも近い位置にあります。

北緯で云えば三十七度付近で  
すので、日本の福島県地方に  
相当するところですが、気候  
は非常に温暖で、日本の関西  
地方と比較すれば、一年中が  
初夏と早春だけといった感じ  
です。天気の方も大陸的と言  
うか、非常に安定していて、  
冬が雨期で夏が乾期になりま  
す。乾期と云えば全く雨が降  
らず、私の滞在中五月から十  
月まで、一度も雨が降りませ  
ませんでした。毎日晴天です。水  
さえ有れば、果実が良く実  
り、野菜・果物の美味しいこ  
このうえ無しでした。



スタンフォード大学のシンボル  
になっている「ファーバータワー」

きさに代えると一辺が約五  
七キロの正方形の広さになり  
ます。従って大学内での移動  
にはサイクリング車か又は自  
動車がなければ身動きがとれ  
ないといった、とほうもない  
広さです。



化学科の中心的建物

学部生は日本の大学のように  
卒業研究を行ないませんが、  
博士コースの大学院生は、一  
般社会が週休二日制にもかか  
わらず、ほとんど日曜日でも大  
学へ出て研究に励んでいます。

たまたま、私の滞在中に、  
スタンフォードの現職の化学  
科教授 HANK・T A U B E  
氏が一九八三年度のノーベル  
化学賞にがやきました。お  
かげ様で、化学科の前庭での  
シャンパンの音高らかなお祝  
パーティーに参加できるラッ  
キーに浴しました。化学科だ  
けでも今までにポーリングや  
フロリーなどのノーベル賞  
学者を輩出しており、三人の  
ノーベル賞学者が、お祝いの  
会場で肩を並べたのを見るの  
は壮観でした。スタンフォ  
ード大学の院生に取って、自分  
の未来の線上にノーベル賞が  
実在していると云う実感の中  
で、けんめいに研究に励んで  
いる姿が私の目に強く印象づ  
けられました。

ていただきます。  
理工学部としましても、一  
九八六年度開設を旨として、  
現在の社会的ニーズに比べ得  
るような新学部の創設に取り  
組んでいます。現在の所では、  
募集定員百名程度の「情報工  
学科」(仮称)と云うことで、  
その準備に、全理工学部スタ  
ッフが一丸となって内容の検  
討を行なっています。

つており、両課程の間には大  
きな差異が無いといってよい  
でしょう。これからの学門分  
野では、理学と工学の境界領  
域に重要な問題が残されてい  
ますので、本学のような教育  
方針は、まさに時代の先取り  
的内容になっていると云える  
でしょう。このような立命館  
大学の教育を受けた学生が、  
未来の社会に巣立って行く時  
どのように発展して行くか大  
いに期待されます。

次に、現在の化学科におけ  
る教育と研究スタッフについ  
て簡単に紹介させていただきます。  
化学科では、工場技術  
者、セールス技術者、企業お  
よび研究所研究員、教員とし  
て化学の基礎を身につけた上  
ある程度の応用・創造力をも  
ち、あらゆる点で有能な、指  
導的立場に立ちうる学識経験  
を有するものの育成を旨とし  
ています。

## 化学科紹介

化学科主任 林 隆俊

立命館大学の長年の懸案で  
あった衣笠学舎への統合も一  
九八一年に法学部の移転を以  
つて完了しました。化学科に  
おきましても現在二十名(教  
授八名、助教四名および助  
手八名)のスタッフによる十  
二の研究室へと成長して、こ  
れから増々、教育・研究の一  
層の充実・発展へ向けて一同  
一丸となって精力的に取り組  
んでいます。具体的な取り組  
みの一例として、今まで募集  
していた化学科学生の実定員  
を、一九八四年度一回生から  
一挙に三分の一減らして百名  
定員に改めました。こうする

ことにより、本学の教育・研  
究の質的内容を一段と高める  
ことを目指しています。年々  
本学を受験する学生の質が向  
上している中で、さらに定員  
減による飛躍的な質の向上が  
期待されています。  
学生の就職に関連して、同  
窓会の皆様方の御協力により  
まして、在学生を対象に本年  
度六月二十七日に「化学科同  
窓会第一回講演会」を開催し  
ました。その際には本学化学  
科同窓会のメンバーである田  
村季照氏、竹内良夫氏や東正  
弘氏などの方々に大変お世話  
になりましたことを付記させ

基礎科目を重視し、そのうえに  
立つて展開・応用の科目を配  
列しています。すなわち、一  
・二回生から教養科目と並ん  
で専門の基礎となる学科目・  
実験を十分に修得させること  
に努めており、四回生時にお  
ける卒業研究は、グループ別  
の指導体制をとって、創造的  
研究への糸口がつかめるよう  
配慮されています。

- 〈有機化学系〉
- 杉田研究室 杉田嘉一郎教授
- 林(隆) 中村尚武 助手
- 林(隆) 林 隆俊 教授
- 岡田 豊 助手
- 岡本 岡本勇三助教
- 立花 立花 精 教授
- 立花 立花 精 教授
- 林(眺) 林 眺 教授
- 木下恭介 助手
- 以上

- 〈分析化学系〉
- 永井研究室 永井外代士教授
- 高橋 高橋玲爾 教授
- 白石晴樹 助手
- 山本 山本善史助教
- 谷口 谷口吉弘助教
- 松田 松田二郎 教授
- 小島一男 助手
- 山本 山本善史助教
- 岩崎研究室 岩崎弘通助教
- 鈴木 鈴木啓三 教授
- 澤村精治 助手
- 谷口 谷口吉弘助教
- 松田 松田二郎 教授
- 小島一男 助手
- 山本 山本善史助教

同窓会通信

幹事会

去る六月十日(日)、午後三時より、末川記念会館会館ホールで本年度第一回の幹事会が行われた。出席者は三十五名で委任状を含め幹事会成立を

(同窓会会計、同窓会会員名簿出版事業会計)が、市川会計監査より会計監査の報告が

引き続き岡本副会長より、昭和五十九年度事業計画および昭和五十九年度予算方針について説明があり、中村会計幹事より予算案の提案が行われ、種々討論の結果、昨年度の諸事業(会員名簿の作成、同窓会ニュースの発行・会員への通信)に加え、本年度よりあらたに在学生(三・四回生)を対象に就職に関する講演会および会員対象の科学技術セミナーを開催することになり、その運営委員長に竹内良夫氏(一部理科二十五年卒・元教員)が選出された。五十九年度会計については一般事業会計と特別事業会計の二本立て

次に、岡本副会長より、昭和五十八年度事業報告(同窓会名簿発行、同窓会発会式、第一回事務局会、第二回事務局会、幹事会、同窓会ニュース発行など)、中村会計幹事より昭和五十八年度決算報告

とし、名簿発行は特別事業とした。更に、松田・谷口両幹事より、同窓会運営に関する種々の提案がなされ討議が行われた。その結果、まず、同窓会ニュース編集・発行については、庶務幹事がその任に当り、編集委員長に岩橋清氏(一部工科二十三年卒)を選出した。名簿作成に関しては、十数名の年度幹事(部別)を構成員とする名簿作成委員会がその任に当り、名簿作成委員会の委員長に岡本副会長を選出した。未納入の年度会費の徴収については、種々議論の末、暫定的に未納入分を含めない単年度請求とすることが承認された。その他、教員退職者への記念品の贈呈、会員の慶弔に関して会員死亡の場合に限り弔電を打つことが承認された。最後に、吉田会長の閉会の挨拶があり、午後五時終了した。

役員名簿

Table with columns for roles (顧問, 会長, 副会長, 庶務幹事, 会計幹事, 会計監査) and names with graduation years.

役員名簿

年度幹事

Table listing members by school type (専門学校, 短期大学, 新制大学) and department (一部工科, 一部理科, 二部理科, 二部化学科).

(なお、空欄の年度幹事は現在までに未選出です。敬称は略させていただきます。)

昭和59年度事業計画

Table of activities for 1984 (昭和59年度) including publication of yearbook, newsletters, and seminars.

昭和58年度事業報告

Table of activities for 1983 (昭和58年度) including yearbook publication, newsletters, and seminars.

昭和59年度予算

Table of budget for 1984 (昭和59年度) divided into general and special activities.

注1. 予算編成基本方針に従い、「名簿出版事業会計」、「化学科準備会計」および「懇親会会計」の残高を含む。注2. 慶弔費を含む。注3. 特別事業会計は次回名簿出版を主目的とする。

昭和58年度決算報告

(なお、支出項目名を中間報告時と一部変更しておりますのでご了承下さい。)

Table of financial results for 1983 (昭和58年度) including income and expenses.

第一回講演会「開催さる！」今年度事業の第一弾として、在校生の就職活動時期に合わせた講演会が六月二十七日(水)午後一時から、衣笠学舎二号館の理工学部会議室で開催されました。当日の出席者は約七十五名でした。一、「製薬工業界の現状と今後の動向」東正弘氏(41年卒、マルホ(株)開発企画部長)二、「仕事の質から見た日本の特質」西本正樹氏(30年阪大卒、(株)京都第一科学・専務取締役)